

各 位

2015年6月3日

会 社 名 株式会社メガチップス
本 社 大阪市淀川区宮原一丁目1-1
代 表 者 名 代表取締役社長 高田 明
(コード番号 6875 東証第一部)

Ingenic社の次世代プラットフォーム発表会にて、メガチップスが パートナー企業としてセンサーハブLSI「frizz」を紹介しました。

2015年5月12日に中国シンセン南山科興科学園において、中国北京に本拠地を置く北京君正集成电路有限公司（以下、Ingenicという）が、新戦略と次世代プラットフォームの発表会を実施しました。メガチップスはそのパートナー企業として、Ingenicのスマートウォッチ向けリファレンスに採用されたセンサーハブLSI「frizz」の紹介と、今後のパートナーシップに関する講演を行いました。

記

Ingenicは2005年に中国北京で創業されたファブレスの半導体メーカーです。Ingenicは中国初のCPU-IPであるXBurstを開発し、このCPUをコアとしたSoCを中国国内のウェアラブル機器メーカーに、広くソリューションとして提供しています。

今回のIngenicの発表会では、同社の新製品であるM200プロセッサをコアとした各種プラットフォームを発表しました。メガチップスのセンサーハブLSI「frizz」は、発表会のメインとなるスマートウォッチ向けプラットフォームAW808「Venus」に採用されています。「frizz」は同プラットフォームにおいて、搭載される全てのセンサ信号の高度な演算を、非常に低消費電力で処理する極めて重要な役割を果たしています。

Ingenicの副総経理である劉将氏はその講演で、「IngenicのM200ベースのプラットフォームであるVenusにおいて、スマートウォッチの機能に欠かす事のできないジェスチャー認識、行動認識等の機能は、メガチップスの「frizz」を採用する事によってパーフェクトな機能を実現する事ができた。」と高く評価すると共に、「競合製品において18時間しか持たない電池を同条件下で40時間持たせる事ができたのはパートナーであるメガチップスの協力が大きかった。」と強いパートナーシップに対して感謝を述べています。

また、同発表会で講演したメガチップス 執行役員 LSI事業本部 副事業本部長 中村健二は、frizz製品の紹介を行うと共に、「IngenicのM200プロセッサは必ず世界を震撼させる物となるだろう。メガチップスは新戦略のパートナーとしてIngenicと共に突き進んでいける事を深く感謝している。」と述べています。

Ingenicのスマートウォッチ用プラットフォームは、既に中国国内の複数メーカーが採用を決めており、今後も同プラットフォームを採用するメーカーは増えていく事が予想されています。

【frizzに関する詳細】

<http://www.megachips.co.jp/product/frizz.html>

■■■ MegaChips Official Channel ■■■

https://www.youtube.com/channel/UCTu0WgYO5r_o2DkDF_GTgA

【製品に関する問い合わせ】

株式会社メガチップス

営業統括部 第2営業部 営業1課 井入

T E L 03-3512-5080

【報道関係、I R関係】

株式会社メガチップス

管理統括部 広報課

T E L 06-6399-2884 (代表)

以 上